

第41回 TSUNAGU食堂（2025年9月） 報告



開催日、場所	2025年9月21日（日）11時～ 横浜市金沢区釜利谷東ハイツ第2集会所
内 容	防災クイズ、昆布クイズ、金沢昆布の紹介、触って食べて体験
参加人数	82名
配布品	金沢昆布、お米、油、お菓子、お弁当、各種食品や飲料、レベルアップ
写真	
活動内容	<p>秋の気配が感じられる9月下旬、82名のお申し込みをいただき、第41回TSUNAGU食堂を元気に開催することができました。開場と同時に多くのご家族が集まり、にぎやかな雰囲気スタート。夏休みが終わった直後ということもあり、子どもたちの「久しぶり！」という声や再会を喜ぶ笑顔があふれ、会場全体が温かな空気に包まれていました。さらに、今回は地域から新しくサポートに加わってくださる方もおり、子どもたちと一緒に活動する姿がとても頼もしく、運営体制もより充実したものとなりました。</p> <p>① 防災プログラム「新聞紙で作る防災スリッパ」 今回の防災プログラムは、これまでのクイズ形式から少し趣向を変えて、参加者全員で「新聞紙を使った防災スリッパ作り」に挑戦しました。災害時にはガラス片や瓦礫で足を怪我することが多く、特に子どもや高齢者にとって足を守る備えは非常に大切です。新聞紙スリッパは家庭にある材料で簡単に作れるうえ、折り重ねることで意外なほど丈夫になり、さらに断熱性があるため寒い時期には保温効果も期待できます。実際に履いて歩いた子どもたちからは「本当に歩ける！」「想像以上にしっかりしてる！」「驚きの声があり、避難袋に入れておきたいという声もありました。工作を楽しみながら「自分の身を守る道具を自分で作る」という大きな学びを得る時間になりました。</p> <p>② 食育・環境プログラム「昆布クイズ」 食育の時間では「昆布クイズ」を行い、昆布が二酸化炭素を吸収して地球温暖化防止に貢献する「ブルーカーボン」の働きに注目しました。子どもたちは「海の森ってすごい！」「昆布が地球を守ってるんだね」と楽しみながら学びました。さらに「昔、昆布は何に使われていた？」というクイズでは、答えが「お金」と知って驚きの声があがりました。昆布が食材にとどまらず、歴史や社会を支えてきたことも実感していただきました。</p> <p>③ 金沢昆布の体験 今回は特別に、アジア環境整備機構のお二人にご協力いただき、地元・金沢漁港で行われている昆布養殖や水揚げの取り組みをご紹介いただきました。実際に昆布を手にとると子どもたちは「つるつるしてる！」「大きい！」「大興奮。さらに茹でると茶色から鮮やかな緑色に変わる実演では、大きな歓声があがりました。試食では「おかわり！」「と列ができるほど好評で、昆布のおいしさと魅力を五感で体験することができました。</p> <p>④ まとめ「昆布の魅力と食体験」 昆布にはカルシウムやマグネシウム、ヨウ素など成長に欠かせないミネラルが豊富で、子どもの体づくりに役立ちます。参加された観御さんからは「体に良い昆布を子どもが美味しく食べられるようになって嬉しい」という声も多く寄せられました。食体験を通じて、昆布が持つ栄養価・環境的役割・歴史的価値を幅広く学べた時間となりました。</p> <p>⑤ お弁当とお土産 今回のお弁当は釜利谷ふれあいカフェさん特製の「唐揚げ弁当」。子どもたちの笑顔が広がりました。さらに、フードバンクかながわさんからはジュースやお菓子、お米をご提供いただきました。加えて「レベルアッププロフェッショナル」も配布することができ、こどもたちの成長を支える大切な機会になりました。</p> <p>第41回TSUNAGU食堂は、防災・食育・環境をテーマに充実した1日となりました。新聞紙スリッパ作りで「身を守る力」を学び、昆布クイズと体験で「自然や歴史への理解」を深め、さらに地域の資源を味わうことで「地元を大切にすること」が育まれました。子どもも大人も体験を通じて楽しく学び、未来へのつながりを感じる時間となったことを嬉しく思います。</p> <p>次回は10月26日（日）！こども集まれー！</p>